令和７年第76回県民俳句大会兼第27回厚木市新緑俳句大会二部表彰者- R７年6月1日

席題「梅雨」一般「当季雑詠」

順位	賞	総得点	得点	句番	受賞句	住所	氏名
1	県知事賞	15	6 9	48 63	まず母の姿確かむ昼寝覚 梅雨ながし十月十日といふ身重	厚木	岡本 保
2	厚木市長賞	14	5 9	100 87	余生なほ裏方徹し著莪の花 トランプのぶれる政策梅雨出水	平塚	石黒 和風
3	県議会議長賞	14	3 11	92 ##	ランドセル梅雨の雫を連れ帰る 古九谷（こくたに）の皿大盛に初鰹	茅ヶ崎	奥村 ゑこ
4	市議会議長賞	14	5 9	123 107	梅雨の路地傘傾ぐ合ふ江戸しぐさ 万緑や胎児またもや腹を蹴る	町田	谷川 治
5	県教育長賞	13	6 7	68 8	新しき命の知らせ梅雨晴れ間 良く喋る妻の客人心太	厚木	川島 健作
6	市教育長賞	11	3 8	21 15	復興へ息吹く植田の水あかり 走り根に力の見えて梅雨晴間	大井	中村 昌男
7	神現代俳句協会会長賞	11	3 8	51 28	梅雨晴間独り居の母既読つき 新緑の低山征す共白髪	茅ヶ崎	小畑 秀樹
8	県俳連会長賞	11	3 8	84 61	夏燕水田の風を乗りこなす 耳病んで雨の音なき梅雨の入	厚木	池田 直子
9	厚木市俳句協会会長賞	11	3 8	79 45	遠富士は隠れ上手や走り梅雨 二人なら傘ひらきます蝸牛	厚木	福井 礼子
10	県俳連賞	10	1 9	88 83	「よさこい」の弾む手拍子初鰹 ふる里に増ゆる放棄地梅雨に入る	茅ヶ崎	日高 朝代
11	県俳連賞	10	3 7	43 7	幾重にも想ひ畳みて藍浴衣 梅雨晴れや番傘を干す木曽の宿	茅ヶ崎	清水 呑舟
12	県俳連賞	9	4 5	39 4	ご自慢の夏を持ち寄る道の駅 ワイパーが研ぎ出す丹沢走り梅雨	中井	尾崎 竹詩
13	県俳連賞	9	2 7	42 26	新緑の風となるまで歩きけり 梅雨湿り書架に古びしこより閉じ	秦野	八木 和子
14	県俳連賞	9	1 8	118 104	友来る新茶と愚痴を手土産に 目の前で踏切閉る梅雨の朝	茅ヶ崎	岩田かつ子
15	県俳連賞	8	3 5	44 5	鰻割くもめる背開き腹開き 梅雨晴間空いっぱいに干す襁褓（むつき）	茅ヶ崎	塚本 治彦
16	県俳連賞	8	2 6	76 29	よく動く嬰の手足や柿若葉 梅雨深し尾灯が滲む交差点	茅ヶ崎	内山 良子
17	県俳連賞	7	2 5	34 93	遠き日の母の縫い目や濃紫陽花 青梅雨や織屋格子の並ぶ古都	座間	荒 理依子
18	県俳連賞	7	3 4	## 89	大空を富士と張り合ふいかのぼり 憂鬱のせ満員電車梅雨となり	町田	米倉 信山
19	県俳連賞	6	3 3	49 6	風薫る保育器の児の母乳の香 梅雨前線夫婦げんかの停滞す	平塚	大佐田うづき
20	県俳連賞	6	2 4	53 2	母の日の研ぎて禿（ち）びたる古包丁 梅雨晴や雀をこぼす瓦屋根	茅ヶ崎	西岡 青波

特選句賞		
芳賀陽子会長	清水呑舟会長	川島浩平会長
48	77	18
梅雨ながし十月十日といふ身重	苔庭へ光ちりばめ若葉風	花菖蒲淡きは慕情濃きは恋
岡本 保	金井美ゐみ	加藤 紀子